

呉市の地域資源を活用した「くれのコレクション=売れるクレコレ商品」創出支援

中小企業施策の歴史

- ・昭和 38 年 中小企業基本法制定 ⇒ 大企業と中小企業の格差是正 (二重構造論)
- ・平成 11 年 中小企業基本法改正 ⇒ やる気と能力のある中小企業の支援
- ・平成 25 年 小規模企業活性化法 (中小企業基本法改正)
- ・平成 26 年 小規模企業振興基本法制定 ⇒ 小規模事業者支援法に基づく商工会及び商工会議所が作成する経営発達支援計画の認定

【商工会の働くフィールド】

- ・ **誰に? (WHO)**
- ・ **誰に (ターゲット)**
小規模事業者! 中小企業者!
創業者! 後継者!

「中長期ビジョン」

- ① 地域産業資源を中心とした商品開発と販路開拓支援、観光振興支援を通じた地域経済の活性化を図ることである。
- ② 1次産業資源を安定的に2次産業である製造拠点で安定的に買取り、加工品として3次産業へ流通させる組織・ネットワーク構築を行う。長期的には、アンテナショップのような都市に負けない情報発信基地 (道の駅等施設) の設立や、1アイテム1千万円以上の売上になるヒット商品=クレコレ商品の開発を支援し、都市圏への「商流」による情報発信と「観光」の受け入れによる双方向の動線の流れを確立し入込観光客を増加させる。

呉広域商工会地区は、呉市の中心部の周辺の広域の沿岸部、島嶼部を管轄としており、瀬戸内という海を取り巻く1次産業と観光資源が豊かな地域である。広島県の指定する1次産業資源や観光産業資源は、次の表のとおりである。

表. 広島県の指定する産業地域資源

農林水産物	クロダイ、広島産かき、お宝トマト、カタクチイワシ、豊浜タチウオ、広島産みかん、広島産レモン
鉱工業品・技術	自動車部品、川尻筆、倉橋の桜御影石 (議院石)、清酒、船舶及び船舶用工業製品、砥石、仁方やすり
文化財・観光資源	御手洗町並み保存地区、ゆたか海の駅 大和建造の街並み、潮騒の館 三之瀬地区の町並み

入口

【目標項目】

① 特産品開発支援	3年後に40品目を目標とし、市場ニーズを踏まえた競争力のある商品開発 (売れるクレコレ商品) を専門家とチーム型支援しブラッシュアップを行う。
② 新たな販路開拓支援	3年後に35社を目標とし、商工会ネットワークを通じたアンテナショップ等へ斡旋、広報プレスリリース等を行い、個社の売上向上に寄与する。
③ 観光振興支援・プチグルメ数	点在する観光スポット・体験型施設などの個店を紹介したプチグルメ観光マップ製作、3年後に取扱店15社を目標に新たなにぎわいイベント (牡蠣小屋やレモン祭り) を支援し、サイクリストや入込観光客を増加させる。

【目標項目】

項目	現状	3年後累計
① 特産品開発数	19品目	40品目以上
② 新たな販路開拓企業数	19社	35社以上
③ 観光振興支援・プチグルメ数	5社	15社以上

- ・道の駅 (アンテナショップ) 設立へ!
- ・人と組織連携!
- ・都市圏へ「商流」「観光」の双方向の流れの確立へ!



・ **どのように? (HOW)** 「伴走型支援という個社それぞれのニーズに応じた「商品メニュー開発・販路開拓サポート体制構築」

支援のメニュー

・何を? What

1次2次3次産業
=6次化

農工商医連携
産学官連携

産学官金連携サポート事業事例発表大会! 商品展示会!

呉市の地域資源を活用した「くれのコレクション=売れるクレコレ商品」創出

事業計画策定支援

「販路開拓」と「広報戦略」

事業計画策定後フォローアップ

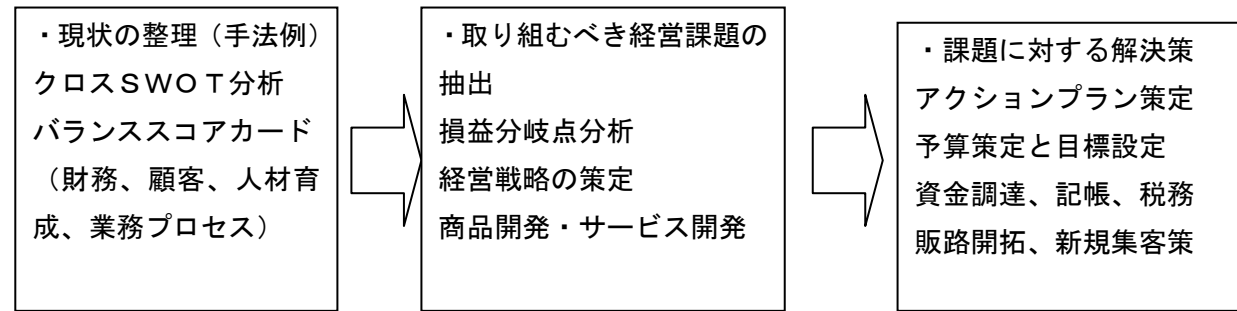
需要動向調査・
新たな需要の開拓 専門家派遣



他にも支援メニューはたくさんあります!
金融 (マル経)、税務、労務、経営相談
【情報発信ツール】
広報ブログ、FACEBOOK、アクティブひろしま、プレスリリース
・専門家によるアドバイス

1. 事業計画策定支援

小規模企業白書によると、事業計画の策定に持続化補助金等をきっかけに初めて作成した経営者は60%以上と高く、小規模事業者持続化補助金の申請の相談も増加している。毎年行う経営計画サポートセミナー（3日間コース）の参加者数も20名を超えるようになってきている。今後ますます需要のある支援であり、経営指導員が1名あたり3社以上の経営計画策定支援に重点を置くとともに、経営支援環境の整備も早急に行う。具体的には、相談者に対する「伴走型支援の可視化」である。相談者にヒアリングを実施する上で、言葉のニュアンスの違い、目標設定など、意識の刷りあわせを行う上で、情報の共有化と意識レベルの共有化を図るため、プロジェクター等を用いて相談者の経営熟度レベルを確実に把握しながら、次の支援フローで行う。



目標数値(経年度は累計数値)

項目	26年度	27年度	28年度	29年度
経営計画策定セミナー開催回数	1回	1回	1回	1回
上記参加人数	20人	40人	60人	80人
事業計画策定数	108社	216社以上	324社以上	432社以上
小規模事業者持続化補助金・ものづくり補助金等作成支援	58社	100社	150社	200社

2. 事業計画策定後フォローアップ

小規模事業者の中でも成長志向の企業は、事業計画においても成長ステージに合わせた支援が必要である。そこで、売り上げ規模に応じて、個社支援のノウハウを蓄積するとともに、セミナーと個別相談に積極的に参加を促進し、小規模事業者持続化補助金、ものづくり補助金等を有効活用しながら次のような支援を行う。

目標数値(経年度は累計数値)

項目	26年度	27年度	28年度	29年度
セミナー・個別相談会参加人数	348人	600人	900人	1200人
巡回によるフォローアップ数	108社 ×2回以上	216社以上 ×2回以上	324社以上 ×2回以上	432社以上 ×2回以上
小規模事業者持続化補助金・ものづくり補助金等採択後のフォローアップ件数	60件以上	100件以上	100件以上	200件以上

3. 小規模事業者に対する個社支援の具体的内容

日常の相談件数から経営分析に基づき、目標に対する伴走型支援を行う。

個社支援では、9名の指導員について3事業所以上の支援企業登録、27事業者について、専門家派遣（ミラサポ）を活用しながら事業計画を事業者と共に策定し、経営課題の相談に応じて助言していく。

- ・支援企業の付加価値額（営業利益、減価償却費、人件費計）を重点的支援企業10社以上集計し、毎年前年比で検証、毎年売上、利益の向上を支援する。
- ・記帳代行企業支援については、ネットDE記帳ツールを活用した黒字企業、法人税、所得税等の納税金額を確定申告時期に把握し、財務分析結果を企業へ提供する。
- ・公庫への斡旋を通じた、運転資金、設備資金の斡旋も円滑に行う。さらに、小規模事業者経営発達支援融資制度の活用を促進する。
- ・IT活用では、セミナーや個別相談を通じて、ウェブサイトの構築やSNS（ソーシャルメディア）を活用した、売上向上に寄与する集客につながる仕組みづくりを支援する。

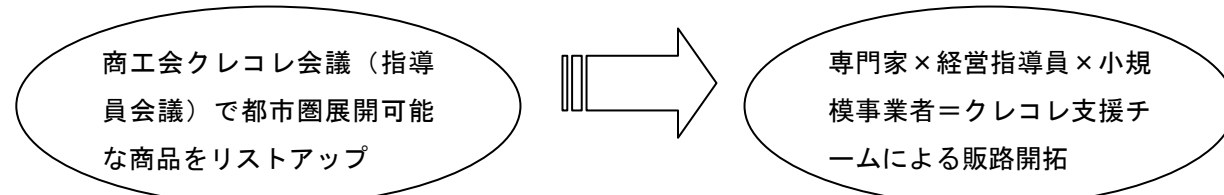
【目標数値毎年継続】

項目	26年度	毎年3年継続目標数値
個社支援企業登録数（ミラサポ）	27事業者	30事業者以上
専門家派遣件数	37回	40回以上
付加価値額算出企業	10事業者うち6社以上上昇	10事業者うち6社以上上昇
記帳継続企業数	95事業者	100事業者以上
金融斡旋企業数	54件	50件以上
IT活用企業	11社	15社以上

4. 「販路開拓」と「広報戦略」

(1) 広島本通りにある「ひろしま夢ぷらざ」、東京有楽町にある「むらからまちから館」東京銀座「TAU」での販売状況は、毎月売上等のレポートを活用し、毎月の販売数量や金額を前年比、昨日対比、季節別で比較分析し、出展いただいている小規模事業者を支援。さらに、都市圏等でのアンテナショップや百貨店、付加価値の高い商材を扱う専門店、商社、バイヤー等への紹介や継続的なプレスリリースによる販路開拓へ活用をする。

(2) 小規模事業者等の商品開発を支援し、商工会クレコレ会議（指導員会議）において都市圏等へ販路開拓が可能な商品を選定し、東京銀座のTAU、東京有楽町のむらからまちから館等へ1ヵ月のテスト販売を積極的に実施支援。都市圏の消費者の評価を踏まえ、広島県、呉市東京事務所、中小機構（中国本部、東京本部）へ提案、ブラッシュアップを図るための「クレコレ支援チーム」を結成、支援ネットワークを構築し販路開拓を支援する。専門家派遣は「ミラサポ」や中小機構の「プロジェクトマネージャー」、「よろず支援拠点」の有効活用、活用促進を行う。



目標数値(経年度は累計数値)

項目	現状 26年	27年度	28年度	29年度
クレコレ商品へチーム型支援（ブラッシュアップ）	10商品	15商品	20商品	30商品
販路開拓支援企業数	19社	25社	30社	35社

5. 需要動向調査・新たな需要の開拓

(1) 商談会、展示会・異業種交流会等、新たなビジネスマッチングを見込める催事には、個社と同行参加など提案力ノウハウを習得する機会として積極的に参加、紹介し、同行支援で新たなビジネスマッチングを図る。

目標数値

項目	現状 26 年	毎年継続
販路開拓のための商談会、展示会、即売会への斡旋	10 社	20 社以上
展示会におけるマーケティングアンケート・バイヤーヒアリング集計数	80 枚	100 枚以上
出展企業者数（商談シート策定支援）	8 社	10 社

(2) 地域産業資源を活用した、ものづくり・特産品開発とブランディング

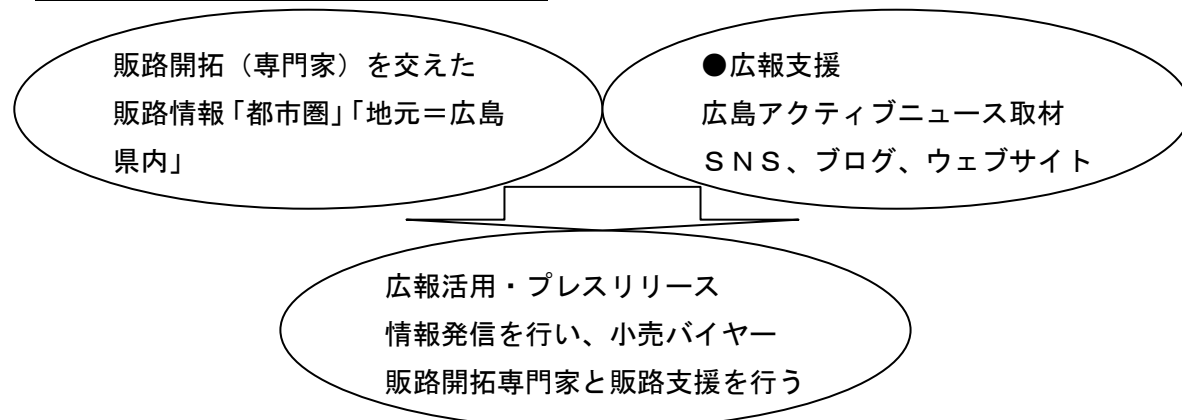
量産できるクレコレ商品を展示会等に出展、バイヤーとの商談を支援し、売れるための商品にブラッシュアップを行う。売れる商品開発をするためには、商工会だけでなく、中小機構、ひろしま産業振興機構（プロジェクトマネージャー等）と連携し、感度の高い展示会等を情報共有し、商品のブラッシュアップ支援、要望があれば同行して商談等、販路開拓支援を行い、統一的なシンボルイメージなど販促物のデザイン、ブランディングを支援する

以上のアンケートデータの収集・分析を行う。消費者やバイヤーのニーズをつかむ。そして、市場ニーズに即した商品のブラッシュアップを行い、販路開拓専門家を交えた商品開発チームを結成し販売力のあるクレコレ商品開発、販路開拓を支援する。

(3) 広報活用、プレスリリースによる情報発信

商工会のブログやSNS、広報便り、マスコミへの継続的なプレスリリースを定期的に行い、「商品開発・販路開拓・入込観光」の支援事例や事業の取り組みを书面化し、地域内外へ発信する。また、入込観光客の集客のため、サイクリスト、アウトドアスポーツ、女子旅、ミセス旅、団体旅行客、海外旅行客（インバウンド）を対象に、観光地プチグルメ・食材・名産品・歴史・ストーリー・イベント情報を、ITツール（ソーシャルメディア、ブログ等）を活用、情報発信し、新たなにぎわいの創出に取り組む。特に、観光客が訪れるスポット紹介支援し、地域に潜在化している飲食プチグルメ店、体験型観光をスポットターゲットとした、点と点を線で結ぶ観光客の動線を誘う「くれコレ・観光プチグルメ体験マップ」（仮称）を策定、地域の個店紹介を行い、個店の売上向上に努める。

図. 個社の「販路開拓」と「広報戦略」



目標数値(経年度は累計数値)

項目	現状 26 年	27 年度	28 年度	29 年度
観光振興支援・プチグルメ数	5 社	8 社	12 社	15 社
プレスリリース数	3 回	6 回	9 回	12 回
HP、ソーシャルメディア活用数	11 社	14 社	17 社	20 社

6. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

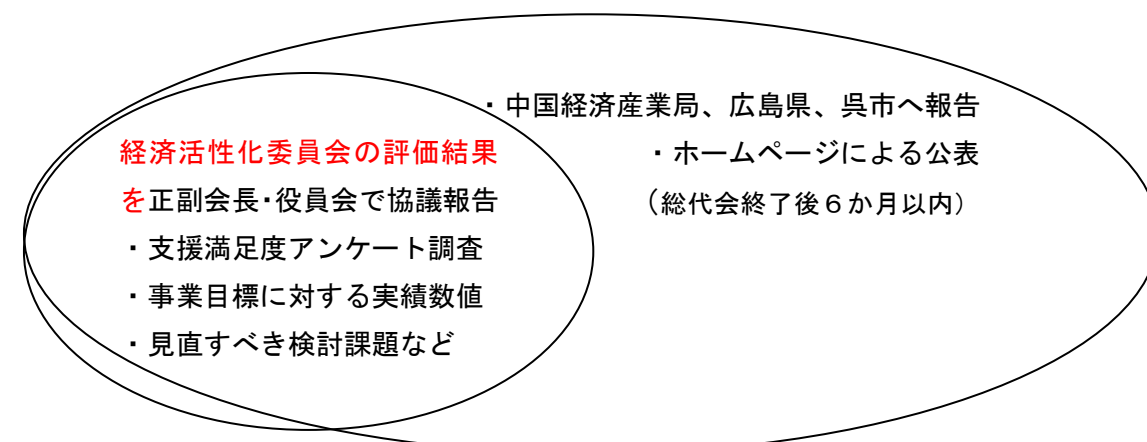
(1) 外部有識者（専門家）および内部委員（正副・各活性化委員長）による「経済活性化委員会」を設置し、客観的な評価判断をしていただき「正副会長会議」「役員会」にて、改善点を協議し報告、次年度の計画策定を図る。そして、毎年度事業終了後に、総代会、中国経済産業局、広島県、呉市へ報告する。さらに、広島県の実施する商工会マネジメントシート事業評価システムにて、毎年事業評価を行っていただき、毎年評価について分析し再構築を行う。これらの、PDCAサイクル（計画、実行、評価、改善）を毎年行い、短期事業計画、中・長期事業計画の点検、見直しを行う。

(2) 事業の公表及び周知方法

事業を年2回、商工会報に掲載し、上半期、下半期で進捗状況及び実績報告を周知する。

また、当会ホームページにて、事業の内容を公表し、周知を図る。

(総代会終了後6か月以内)



経営発達支援事業の実施体制

経営発達支援事業の実施体制

(平成 28 年 4 月現在)

- (1) 組織体制 主体：呉広域商工会
 (2) 連絡先 ☎737-2603 呉市川尻町西1丁目1番1号 担当者：佐々木隆司
 TEL0823-70-5660 Fax0823-87-3318 mail: kure-kouiki@hint.or.jp
 HP:<http://www.shokokai.or.jp/kurekouiki/>

事務局機構 (27名)
 会長1名、事務局長1名、経営指導員9名
 補助員3名、記帳専任職員1名、一般職員13名

呉広域商工会 本所・支所 事務局機構図

商工会会長 村尾 征之

本所広域担当 (7名)
 事務局長 盛池尚教 事業統括 経営支援課 課長 上戸 昭吾
 経営支援課 企画・運営窓口 主任 佐々木隆司
 事業推進メンバー 主任 小川とし子
 主任主事 奥田節子
 主事 荒川 聡美 記職 永田美由紀

経営発達支援事業支所統括担当 (経営指導員6名)	経営発達支援事業推進支所サポートメンバー (13名)
音戸支所 松岡 昭博	音戸支所 記職 遠目塚由美子 臨時 松井規子
倉橋支所 成瀬 宏二	倉橋支所 主任主事 水谷みどり 臨時 吉本恵子
下蒲刈支所、蒲刈支所 少前 圭祐	下蒲刈支所 記職 菅原初美
豊支所、豊浜支所 村上 恵美子	蒲刈支所 記職 金岡初月
安浦支所 西野 正治	豊支所 記職 八重垣利枝 記職 谷本 容子
川尻支所 高野 晋一	豊浜支所 主任 平松ひとみ
	安浦支所 主任主事 西中紀久美 記職 田中奈津美
	川尻支所 記職 岡本喜代美 記職 新田美鈴

呉広域商工会 (音戸支所)	呉市音戸町鰯浜 1 丁目 3-14	TEL0823 - 52 - 2281
呉広域商工会 (倉橋支所)	呉市倉橋町 1210-8	TEL0823 - 53 - 0030
呉広域商工会 (下蒲刈支所)	呉市下蒲刈町下島 2361-7	TEL0823 - 65 - 2522
呉広域商工会 (蒲刈支所)	呉市蒲刈町田戸 2308-1	TEL0823 - 66 - 1055
呉広域商工会 (安浦支所)	呉市安浦町中央 3 丁目 4-48	TEL0823 - 84 - 5800
呉広域商工会 (川尻支所)	呉市川尻町西 2 丁目 10-2	TEL0823 - 87 - 2139
呉広域商工会 (豊支所)	呉市豊町御手洗 248-2	TEL0823 - 66 - 2020
呉広域商工会 (豊浜支所)	呉市豊浜町大字豊島 3526-12	TEL0823 - 68 - 3366

連携する内容

- ・ふるさと名物応援事業 (グループ支援)
- ・商品開発：マーケティング戦略の構築、ギフト商品の開発提案
- ・販路開拓：海外展開、グルメ&ダイニングスタイルショー等へ出展
- ・観光振興：都市圏からインバウンド観光の集客
- ・商工会及び連携先催事出展への斡旋支援

連携者及びその役割

連携者	所在地/連絡先	代表者	役割
公益財団法人 ひろしま産業振興 機構	広島市中区千代田 町3丁目7-47 / 082-240-7715	理事長 深山 英樹	商品開発等チーム型支援、下請けかけ こみ寺案件斡旋、展示会等マーケティ ング戦略、発明協会 (商標登録等)
独立行政法人 中小企業基盤整備 機構 (東京本部) (中国本部)	東京都港区虎ノ門 3-5-1 虎ノ門 37 森ビ ル/03-3433-8811 広島県広島市中区八丁 堀5番7号 広島KSビ ル3階/082-502-6300	理事長 高田 坦史	事業モデルの提案、ふるさと名物応援 事業、地域資源活用、 農商工等連携課題解決支援 ハンズオン支援、プロマネ紹介 販路開拓コーディネーター派遣

事業連携体制図等

